

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8 36	言葉使いが不適切であったり、馴れ合いになっていることがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の特性など身につけ、日々のケアを通して病状などへの対応力をつける。 ・権利擁護の習得、接遇の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前検討を行い、内部研修(勉強会)を設け、不適切な対応や言葉使いを具体的に例を挙げた研修を行う。 ・職員一人一人、日々の振り返りを行いながら自己研鑽に励む。 ・ホーム内で接遇目標を決め実施し意識を高める。職員間で注意しあえる関係性を持つ。 	3ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた体制が整っていない。看取りや研修の経験者が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化の指針及び看取りに関する知識を理解し深める。 ・終末期介護を行えるようにしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化指針(当事業所)や終末期に向けた研修を行う。 ・医療機関との関わりを常に持ち、日々の状態の変化、観察を行い連携を持つ。 ・重度化の指針、終末期に向けた指針を基に家族、本人の意向を確認する。 	12ヶ月
3	2 20 49	新型コロナウイルス感染拡大状況により、外出支援や家族・なじみの方との交流ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・状況を見ながら外出支援を行う ・感染防止対策を行いながら交流の場の提供 ・外気に触れる機会を増やし季節感を感じれもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況の把握、最新の注意をしながら対応する。 ・地域の情報や行事を把握し参加できるよう調整する ・希望時だけではなく、常に家族や友人等との繋がりが途切れることがないように手紙や電話など状況に応じ支援する。 ・入居者の体調や要望に応じた計画を行う。 ・気候が良い時には戸外の散歩やウッドデッキで活動を行う 	6ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。